

3月定例会

市長選挙実施のため

平成26年度は骨格予算が成立

詳細かつ慎重な審査を

委員会付託案件

議案等の詳細な審査と結果の報告を委員会に委ねることを「委員会付託」といい、付託された委員会は審査の結果を本会議で報告します。ここでは各常任委員会で審議された案件の一部を掲載しています。

会期日程

- 2月25日 ○会期の決定
○会議録署名議員の指名
○議案等の上程・提案理由の説明
○予算審査特別委員会の設置
○予算審査特別委員の選任
◇予算審査特別委員会
- 26・27日 (考案日)
- 28日 ○一般質問 (5人)
- 3月3日 ○一般質問 (3人)
○議案等の質疑・委員会付託
- 5～7日 ◇常任委員会
- 10～13日 ◇予算審査特別委員会 (事務整理日)
- 18・19日 ○議案等の審議 (委員長報告・質疑・討論・採決)
○追加議案等の上程・提案理由の説明
○追加議案等の審議 (質疑・討論・採決)
○諸般の報告
○閉会

※骨格予算…首長選を控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算

平成26年第1回定例会は、2月25日に招集され、3月20日までの24日間の会期日程で開会しました。開会日に市長が提案理由の説明を述べ、28議案が上程されました。その後、予算審査特別委員会を設置し、議長を除く19名が委員として選任されました。本年度は市長選が行われ、最終日に付託された議案について、各委員会から審査結果報告を受け、質疑討論、採決を行い、全議案とも、可決しました。さらに、人事案件1件、意見書案2件、発議案1件が追加上程され、審議の結果それぞれ同意、可決し、本定例会を閉会しました。

3月補正予算

・一般会計	2億9294万円
1. 経済対策経費	
・林道橋梁の点検診断、保全整備事業 (長寿命化計画)	550万円
・社会資本整備総合交付金事業 (道路の舗装等点検)	1500万円
・道整備交付金事業 (十文字・川原線)	4000万円
・三奈木小屋内運動場耐震補強事業	1504万円
・南陵中校舎耐震補強事業	1億894万円
・甘木中屋内運動場等耐震補強事業	1億9369万円
2. その他	
・H24 豪雨災害を受けられた地域に対する見舞金	100万円
・障害者福祉サービス事業	3800万円
・生活保護費 国県への精算返納金	5902万円
・小石原川ダム水源地域整備基金積立金	7566万円
・地域振興基金積立金	2億7717万円
・公債費繰上償還金	4億7472万円
・住宅新築資金等貸付特別会計	103万円
・国民健康保険特別会計 事業勘定	3000万円
・後期高齢者医療特別会計	△1190万円
・下水道事業特別会計	△1億6041万円
・農業集落排水事業特別会計	△1868万円

甘木勤労青少年ホーム 廃止条例を慎重に審査

総務文教常任委員会

3月定例会で付託された議案3件を審査しました。

☆朝倉市甘木勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定について

昭和47年に開館した甘木勤労青少年ホームは、耐力度調査によると「老朽化が目立ち建て替えを要する施設」とのことで、現在、ホームの利用状況からみると、その設置目的である「勤労青少年のための施設」から「市民のための生涯学習施設」に変化していることから、所期の目的は一定終了したと判断。現在の活用内容は生涯学習センターや地区コミュニティセンターにおいてなされるべきとし、当ホームを廃止し、解体するものです。本委員会は、執行部の説明を了とするが、現在、当ホームの利用者等については十分配

慮することを強く要望し、原案のとおり可決しました。

☆損害賠償について

第24号議案及び第26号議案については、両議案とも「交通事故による損害賠償について」です。いずれも公務遂行中に発生した交通事故であり、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求められているものです。いずれもケースが違ふ事故であるが、安全運転を全庁的に検討されることを強く要望し、全員異議なく原案のとおり可決しました。



お役目お疲れ様でした

「朝倉市環境基本計画」 現状に即し一部見直し

環境民生常任委員会

3月定例会で付託された議案9件を審査しました。

☆「点検と評価」を計画に追加

環境政策の動向等により、見直しを行い「環境基本計画（前期）」の点検と評価」が追加になりました。取り組みの推進点検を実施し、現状に即した見直しを行うというものです。評価については、財源の確保が重要であり、基金の創設について、朝倉市が独自で運営できる基金を検討していくとのことでした。計画では、国の重点分野に地球温暖化の取り組みが位置付けられ、太陽光発電等のクリーンエネルギーについて示されたことにより、市民と事業者の役割など新たに追加されました。

また、この計画のタイトル「思いっきり しん呼



“思いっきり しん呼吸”
人と自然がひびき合うまち

旧認定道路の再認定 について議論

建設経済常任委員会

3月定例会で付託された議案15件と陳情1件を審査しました。

☆第28号議案「市道路線の認定について」

現地確認後の審査では、旧杷木町の再認定が漏れている路線のなかに幅員が十分な箇所があるため、通行上の安全性に問題があり、市道認定後に事故等が発生した場合の市の責任を危惧する意見が出されました。また、幅員が4メートルに満たない道路が市道認定として上がってきた際に認定する基準があるのかという意見も出されました。これに対し、執行部からは、幅員が狭い箇所については、地元より寄付採納を受け、拡幅を計画し、拡幅ができない箇所については、標識を立てるなどをして通行の注意を促し、地域コミュニ

また、この計画のタイトル「思いっきり しん呼



現地確認の様子